

横浜市における 道路陥没防止の取組

令和7年2月 区連会定例会資料

西土木事務所

2025年2月18日

明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

1 事故の概要

(1)発生日時

令和7年1月28日(火)10:00頃

(2)場所

埼玉県八潮市中央一丁目

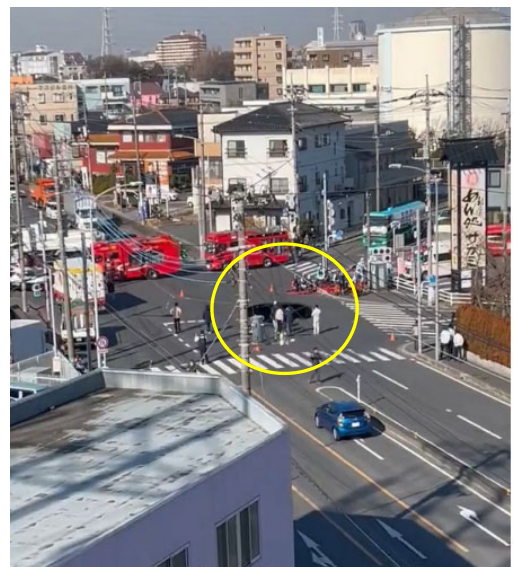
(3)破損したと想定される下水道管 管径4.75mの污水管(築42年)

(4)陥没状況(当初)

直径9~10m、深さ5m

(5)被害者状況

走行中の2トントラックが車両ごと落下



2 横浜市の下水道管の状況



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

(1)延長:約12,000km(うち西区 253km)

(2)老朽化率(築50年超)

・令和5年度末 :約13%(約1,500km)

・令和15年度末:約45%(約5,400km)

・令和25年度末:約84%(約10,000km)

(3)過去5年間で下水道管が原因と考えられる
道路陥没の件数:431件

※市民生活に影響を与えるような重大案件はなし



取付管破損に伴う道路陥没

3

3 道路陥没を防止する取組



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

(1)下水道の調査(小口径:管径80cm未満)

・平成30(2018)年度から年間約1,200km実施

・対象は平成30年時点で30年以上経過した約6,800km

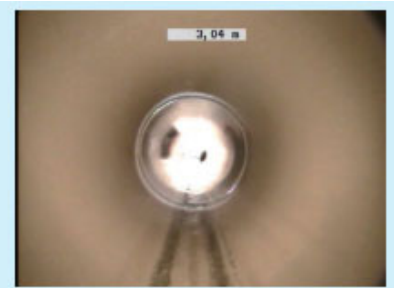
・令和6年度未完了予定、令和7年度以降継続予定



下水道管の清掃



調査に使用するTVカメラ



下水道管の撮影画像

4

3 道路陥没を防止する取組



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

(2) 下水道の調査(中大口径:管径80cm以上)

- ・平成30(2018)年度から年間約150km実施
- ・対象は布設から30年以上経過した約1,500km
- ・令和8年度未完了予定、令和9年度以降継続予定

※重大な損傷はなし



調査に使用するTVカメラ



中大口径管の調査状況

5

3 道路陥没を防止する取組



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

(3) 路面下空洞調査

- ・平成3(1991年)年度から開始し、平成25(2013)年度から本格実施、令和5(2023)年度から2巡目の調査を開始
- ・調査対象は緊急輸送路、バス通りなどの幹線道路

※重大な事故に直結する空洞はなし



空洞探査車による調査(一次調査)

6

3 道路陥没を防止する取組



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

(4) 今回の事故を踏まえた緊急点検

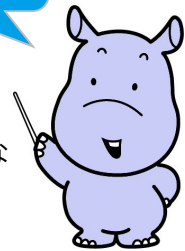
- ・事故の重大性を考慮し、横浜市は2月3日～5日に緊急点検を実施
- ・市内全11箇所の水再生センターに流入する下水道約30幹線について、目視確認および路面下空洞調査

※大規模な陥没につながるような異常はなし

自主的に点検を実施しました！

【参考】国の動き

- ・今回の事故を受け、令和7年1月29日、国土交通省が緊急点検を行うよう依頼文を发出
- ・対象は、「流域下水道管理者が管理する、1日最大処理量300,000m³/日以上の大規模な下水処理場に接続する口径2,000mm以上の下水道管路」→横浜市は該当しない

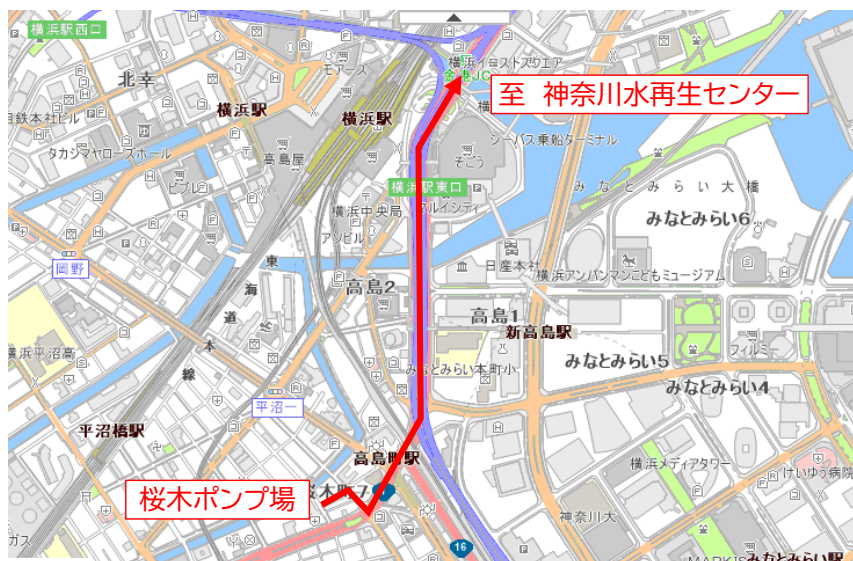


7

3 道路陥没を防止する取組



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



西区における緊急点検箇所(保土ヶ谷桜木合流幹線 管径3,000mm、総延長2.8km)

8